



2018年12月10日

内閣総理大臣 安倍晋三 様
国土交通大臣 石井啓一 様
防衛大臣 岩屋 毅 様

公益財団法人日本 YWCA
会長 藤谷佐斗子
総幹事 尾崎裕美子

辺野古海域への土砂投入に抗議します

岩屋毅防衛大臣は、12月3日に「辺野古海域への土砂投入を今月14日に予定している」と発表しました。辺野古新米軍基地建設に関しては、2度にわたる県知事選挙によって、沖縄の民意は「NO」を言いつづけています。今回も、沖縄の市民たち、そしてこの事柄に責任を感じているヤマト(沖縄以外に住む者たち)の市民たちがずっと反対行動を続けています。私たち日本YWCAも、その中に加わり、反対の声を上げ続けてきました。

私たち日本YWCAは、アジア・太平洋戦争において、戦争を止める力になり得なかった自らの責任を深く省み、「平和を作りだすもの」としての歩みを続けてきました。

軍用基地はどのような国のものであっても、結局は「人を殺すため」「戦争をするため」に訓練される場所です。私たちは、どのような目的のためであっても、人を殺すことには加担することはできません。戦争をするための米軍基地は、戦争を放棄しているこの国には不必要です。

米軍基地にいる兵士たちは「人を殺すため」に訓練された人々です。兵士たちは「人を差別する」ように教育されます。そうでなければ人を殺すことはできないからです。結果、「日本の人々を差別しても良い」と思い、支配と差別を繰り返します。この70年以上の間ずっと、沖縄の女性と少女たちは米軍兵による暴力(殺人、強姦、身体的・精神的・性的ハラスメントなど)を受け続けてきました。なぜ、女性や少女たちはこのような目に遭わなければならないのでしょうか。

米軍の訓練のために、沖縄の保育園の上を軍用機が飛んでいます。2017年12月には本来の訓練ルートではないのに、なぜか毎日飛んでいた米軍用機から落ちた落下物によって、もう少しで大惨事になるところでした。また、これまでもたくさんの事故が起こり、人命が奪われ続け、住民の安全は脅かされています。

辺野古の海は、本当に美しい海です。いのちを育む海です。ジュゴンやウミガメ、サンゴをはじめとする、多くの種類の動植物は、ここでしかいのちを得ていくことができません。土砂投入は、これらの生態系を完全に壊すこととなります。私たち日本YWCAは、全てのいのちが大切にされ生かされることを願って活動を続けています。

辺野古海域への土砂投入に強く抗議します。辺野古への新米軍基地建設を撤回してください。

沖縄の人々や、私たち市民の声を聴いてください。

以上を強く求めます。

日本 YWCA

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 東京 YWCA 会館 302 号室

TEL03-3292-6121 Fax03-3292-6122 office-japan@ywca.or.jp